

2024年 戸田みらい基金 活動報告

発表日 2024年 10月 9日

団体名	職業訓練法人 札幌左官職業訓練協会
助成対象区分	第14回若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成A
活動テーマ	左官業界の新人育成（札幌左官高等職業訓練校）
活動期間	2023年 4月末～2024年 7月

団体概要

職業訓練法人 札幌左官職業訓練協会

職業訓練法人札幌左官職業訓練協会は、昭和37年に設立され、職業訓練法による認定職業訓練その他の職業訓練に関し必要な業務を行うことにより、職業人として有為な労働者の養成と労働者の経済的社会的地位の向上を図ることを目的にしています。

本会の設置する認定職業訓練のための施設が、札幌左官高等職業訓練校であり、「普通職業訓練普通課程」の「建築仕上系左官タイル施工科」として北海道の認定を受けています。

入校生は、当訓練協会に所属する会員又は会員の事業所に勤務する従業員で高校卒業程度の学力を有する18歳以上の者としており、訓練期間は毎年4月から3月までの1年間で訓練時間は1,438時間です。（当方訓練校に集合して行う集合訓練が504時間、各所属会社の指導員の元に行う分散訓練が934時間）

1日の訓練時間は7時間であり、集合訓練においては、建築生産概論・建築構造などの基礎学科や左官施工法・タイル施行法などの専攻学科及び左官の実技について、左官職人としての基礎的な知識と技能の向上に励んでいます。

平成26年に、訓練期間や訓練内容の大幅な見直しを行い、生徒減少による休校の危機を乗り越え、直近10年間で82名の卒業生を輩出しております。同校から巣立った修了生が左官業界を支える人材として活躍しており、今後も後継者育成の重要な場として、引き続き国や公共団体、そして今回の戸田みらい基金様などのご支援をいただきながら、より効率的で効果的な訓練に努めていきたいと存じます。

今回の活動内容

札幌左官高等職業訓練校において例年4月の1ヶ月間に行われる、集合集中訓練強化のため、今回の事業に応募させていただきました。

具体的活動内容

平成26年に行った大規模な訓練プログラムの見直しは、まずは入校後1ヶ月間の集中訓練を行い、現場に出て最低限必要な安全知識・安全技術、その他、現場ですぐに役に立つ基本作業を習得することを目的として授業内容をプログラムしております。

今回、その中の4つのトレーニングコンテンツに関わる架台作成に助成金を活用させていただきました。

- ① 塗り壁トレーニング
- ② サッシモルタル埋めトレーニング
- ③ 階段モルタルトレーニング
- ④ 技能照査検定架台枠・下地板

① 塗り壁トレーニング

札幌左官高等職業訓練校、入社後1ヶ月の集合集中訓練プログラムの中で最も時間を費しているのが、塗り壁トレーニングです。

集中訓練期間中は毎日、午後の授業はこの塗り壁トレーニングを行い、1時間に20回連続で塗れるようになるのが目標。



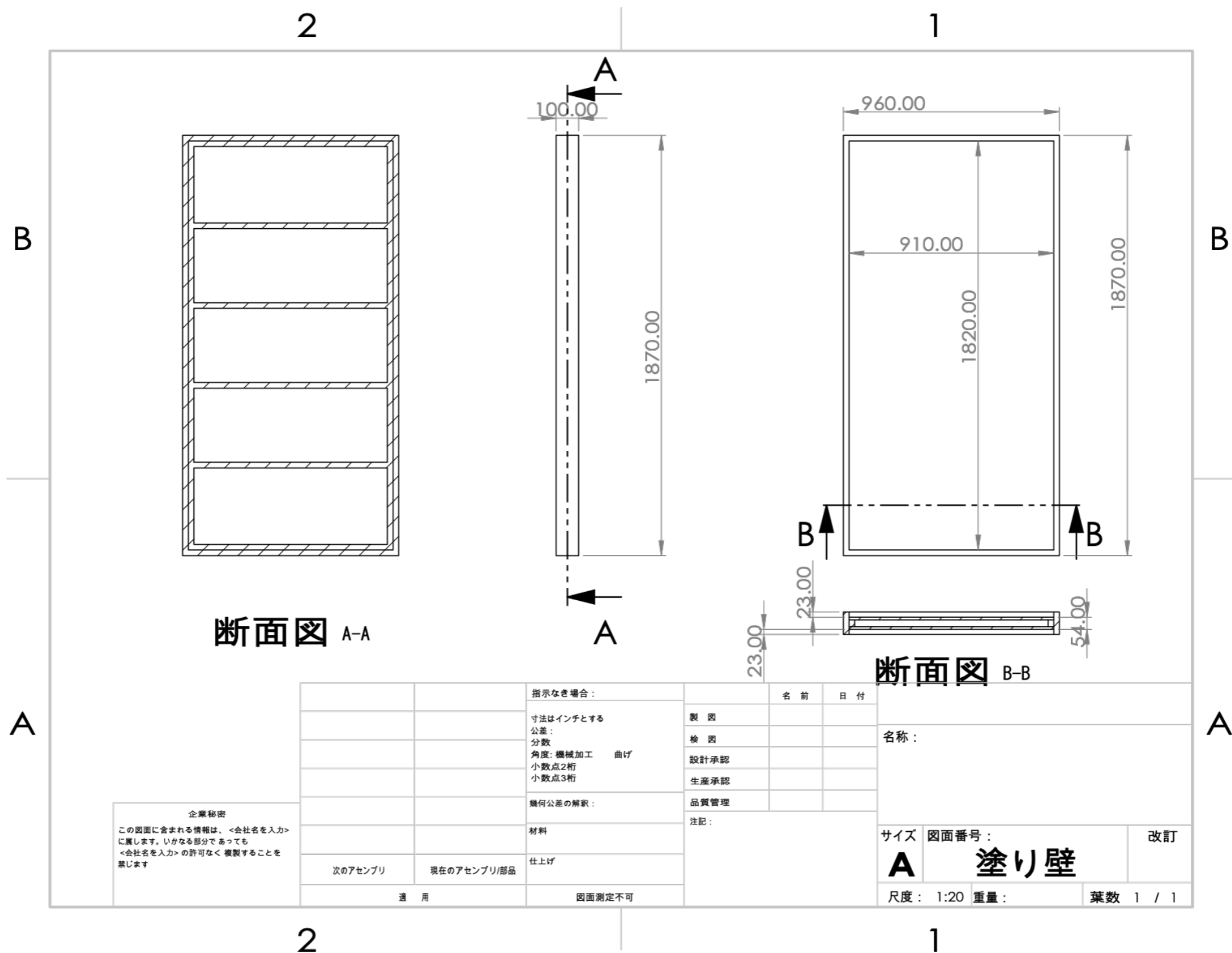
現状における問題点

塗り壁トレーニングの架台は繰り返し使っているうちに水分を含み、塗り面が反ってしまい、平らな壁を作りづらくなるのが問題であった。

助成金活用① 改良型塗り壁トレーニング架台の製作

改良点

- ・ 架台の中に芯材を入れることで、塗り壁の板の反りを防ぎ、平らな壁を作りやすくなる。
- ・ さらに裏表から塗れるようにすることで、塗り壁トレーニング以外のトレーニングが同時に可能となる。



改良型塗り壁トレーニング架台設置風景



塗り壁トレーニング風景



塗り壁トレーニング架台裏面



段取り替えすることなく、塗り壁トレーニングをやりながら裏面を使用して薄塗りモルタル塗りを行った



② サッシモルタル埋めトレーニング

鉄筋コンクリート造における左官工事の中に、「サッシモルタル埋め」という作業がある。コンクリート躯体に取り付けられたサッシとの隙間をモルタルで埋める作業。このサッシ埋めモルタルが不十分だと、外部から雨水が入り漏水する可能性もある。したがってとても重要な作業である。



訓練校のプログラムにおいて、サッシ埋めに関する授業は今までも行なってきたが、今回はその授業をより実際の現場作業に近づけたものへ改良することにした。

今までのサッシモルタル埋めのトレーニング

下の写真のように、木材を板に固定して隙間を作りそこにモルタルを埋めていく



現状における問題点

本物のサッシをイメージすることが出来ず、実際の作業ともかなり相違があり、現場をイメージできなかった。

助成金活用② サッシモルタル埋めトレーニング架台の製作



本物のコンクリート躯体と同じ寸法・形状に
木枠を製作



コンクリート躯体を模した木枠に本物のスチールサッシ枠を取り付ける



サッシ枠に穴を開けナットを固定し、ボルトをねじ込みサッシ枠を木枠に固定する



ボルトをねじ込み固定



サッシ埋め作業において重要なバッカー取り付け作業から学べる



枠を固定しているボルトは実際のサッシ溶接アンカーと同じ場所に取り付けてある。



今回の架台製作により、実際の現場でのサッシ埋めをイメージ出来るトレーニングが可能となった



モルタル埋めを終えると、チリ周りのモルタル押さえや掃除まで現場作業と同じように学べる



目地押さえ清掃状況



作業終了後はボルトを緩め、サッシ枠を取り外し、モルタルを撤去する。
さらに、この木枠は分解出来るようになっており、収納スペースを取らない。



③ 階段モルタルトレーニング

階段のモルタル仕上げは左官工事において難易度の高い技術を要する作業であり、日常の現場作業だけで身につけるには大変苦労します。

当訓練校では、階段モルタルトレーニングと称し、階段の墨出し作業から施工方法の基本までを授業のプログラムに取り入れています。

今回、階段モルタルトレーニングをより効率的に行えるように、トレーニング架台を新たに製作することにしました。

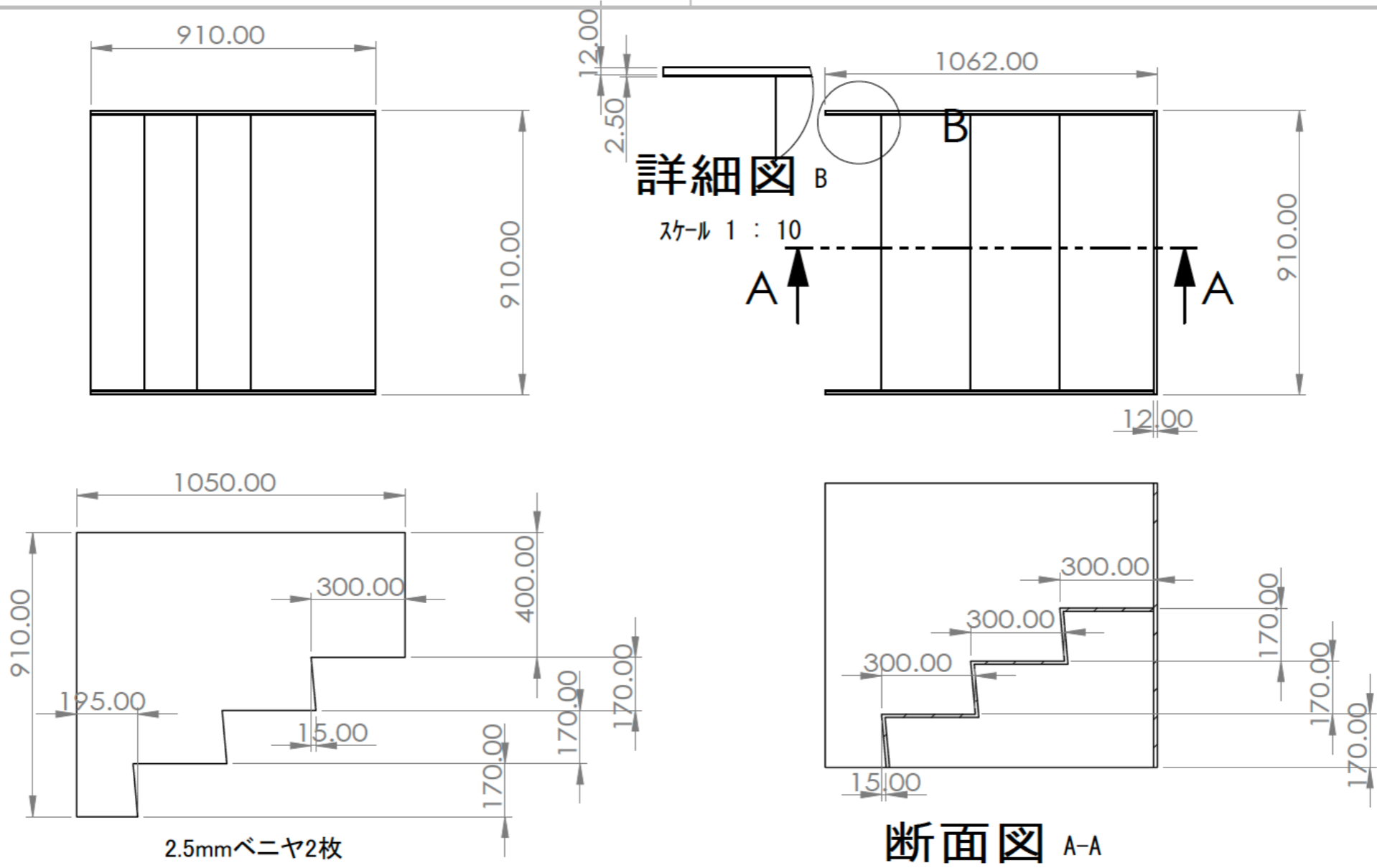


助成金活用③ 階段モルタルトレーニング架台の製作



1 ユニットを小さく、段数も少なくすることで、初心者でも学びやすい架台設計としている

階段モルタルレーニング架台製作図



企業秘密
この図面に含まれる情報は、<会社名を入力>に属します。いかなる部分であっても<会社名を入力>の許可なく複製することを禁じます

			指示なき場合：
			寸法はインチとする
			公差：
			分数
			角度：機械加工 曲げ
			小数点2桁
			小数点3桁
			幾何公差の解釈：
			材料
			仕上げ
次のアセンブリ	現在のアセンブリ/部品		
通 用			図面測定不可

	名 前	日 付	
	製 図		名称：
	検 図		
	設計承認		
	生産承認		
	品質管理		
	注記：		

サイズ	図面番号：	改訂
A	階段	
尺度： 1:20	重量：	葉数 1 / 1

架台側面に階段の墨出し作業を行う



階段の墨に合わせてモルタル塗り作業



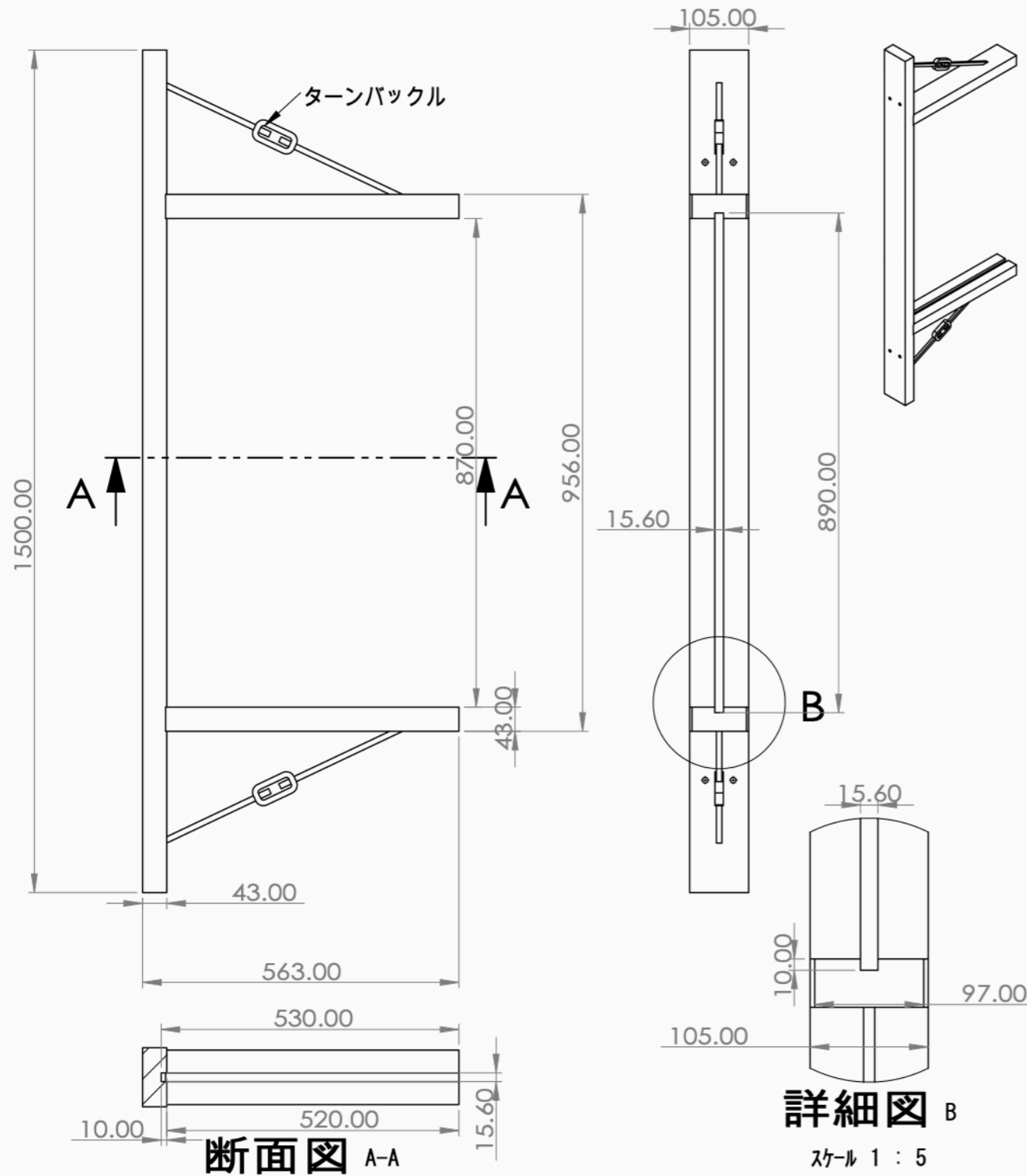
モルタル塗り作業完了後、モルタル解体



トレーニング終了後は折りたたみ式で場所を取らず保管可能



助成金活用④ 改良型技能照査検定架台の製作



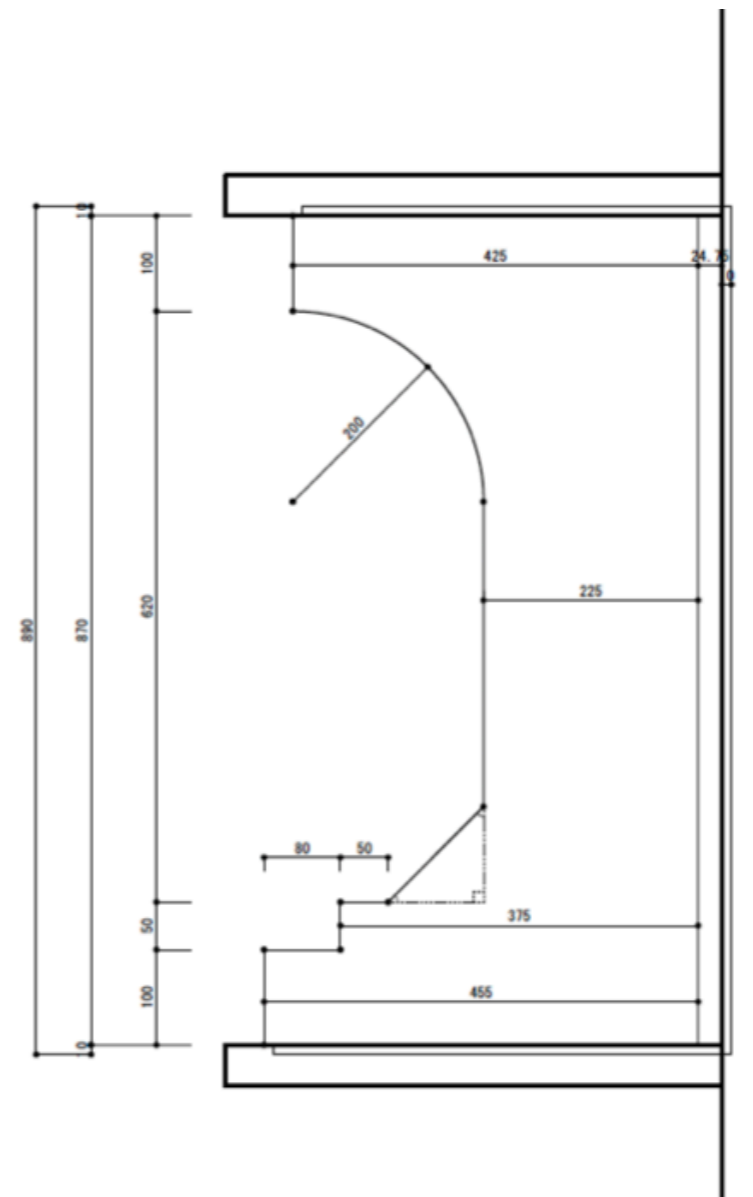
訓練校の卒業試験となる「技能照査」こちらの架台枠は木製のため年月とともに枠の精度が狂ってくるのが問題でした。今回ターンバックルを取り付け枠も強化することで、毎回精度の良い架台枠が簡単に取り付け可能となりました。

助成金活用④-2 技能照査課題下地板製作

さらに検定架台の下地板を毎回石膏ボードを切り出して、その板に石膏中塗りをして製作していた。この下地を作成するのに授業時間の多くの時間が取られていたが、**下地板もベニヤ板にて製作することで、実技トレーニングの時間を大幅に増やすことが出来るようになりました。**



従来：石膏ボードを各自切出し



改良：下地板をベニヤ板にて製作

技能照査検定架台及び課題下地板取り付け状況



技能照査検定風景



活動成果まとめ

この度の戸田みらい基金様の助成金をトレーニングコンテンツの架台製作に活用させていただき、従来訓練プログラムにおいて大きな問題であった、トレーニングを行うための準備作業が大幅に削減されたことで、1ヶ月間という限られた時間の中で、実際の作業トレーニングに費やす時間が多く取れるようになり、その結果生徒たちの習熟度も大きく上がりました。今後とも今回の架台を最大限活用させていただき、未来の生徒たちへ役立てて参ります。この度は、誠にありがとうございました。